

○新型コロナウイルス感染症

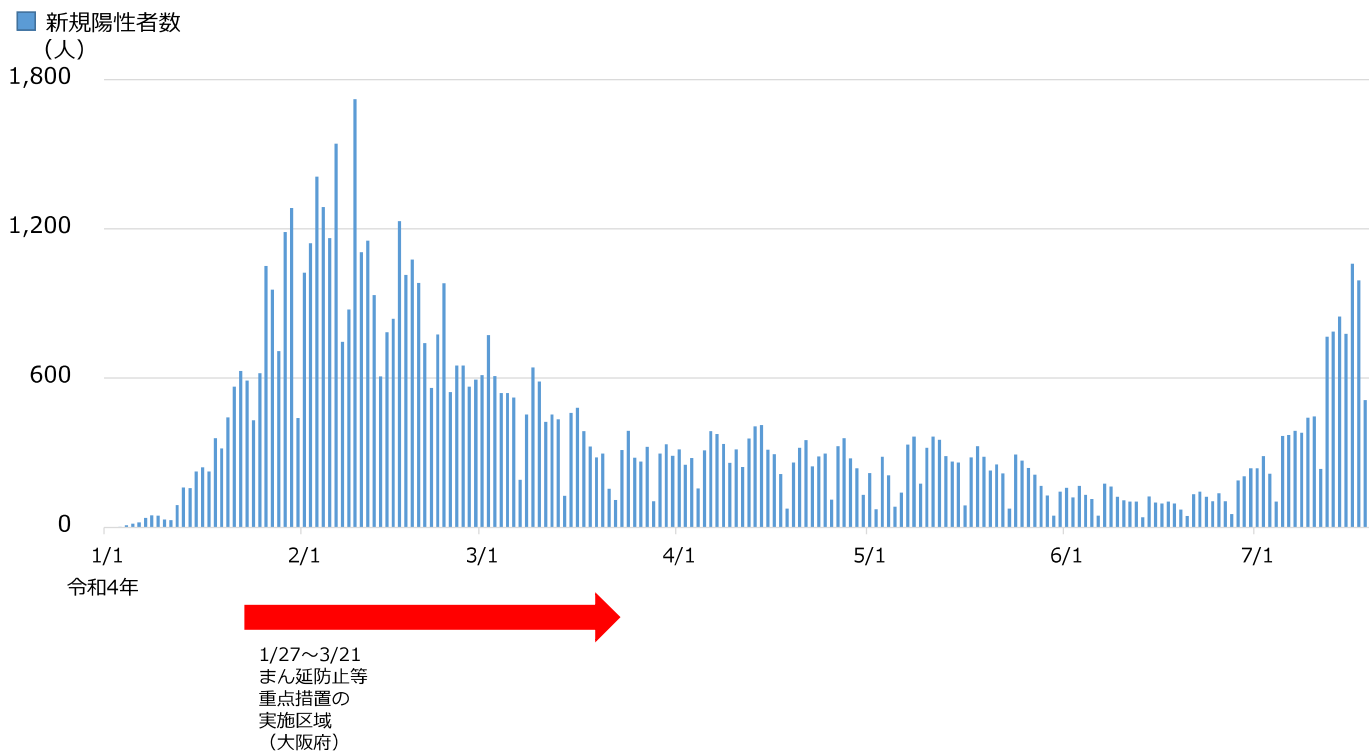
○男性職員の育児参画の推進

新規陽性者数と前週同曜日比の推移

日	月	火	水	木	金	土
6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2
105	54	189	206	238	237	286
1.46	1.17	1.41	1.44	1.93	2.26	2.07
7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9
215	104	367	371	388	380	441
2.05	1.93	1.94	1.80	1.63	1.60	1.54
7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16
446	235	766	787	848	778	1060
2.07	2.26	2.09	2.12	2.19	2.05	2.40
7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23
993	512	421	-	-	-	-
2.23	2.18	0.55				

月日
新規陽性者数（人）
前週同曜日比

新規陽性者数の推移

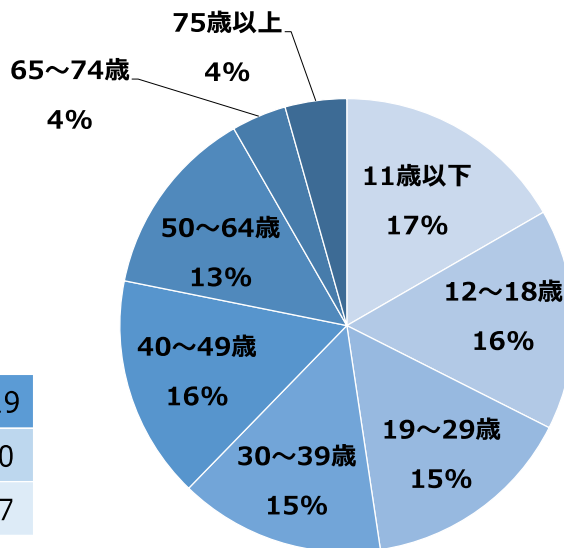


堺シグナル・モニタリング

○7月19日現在

直近1週間人口10万人あたり新規陽性者数

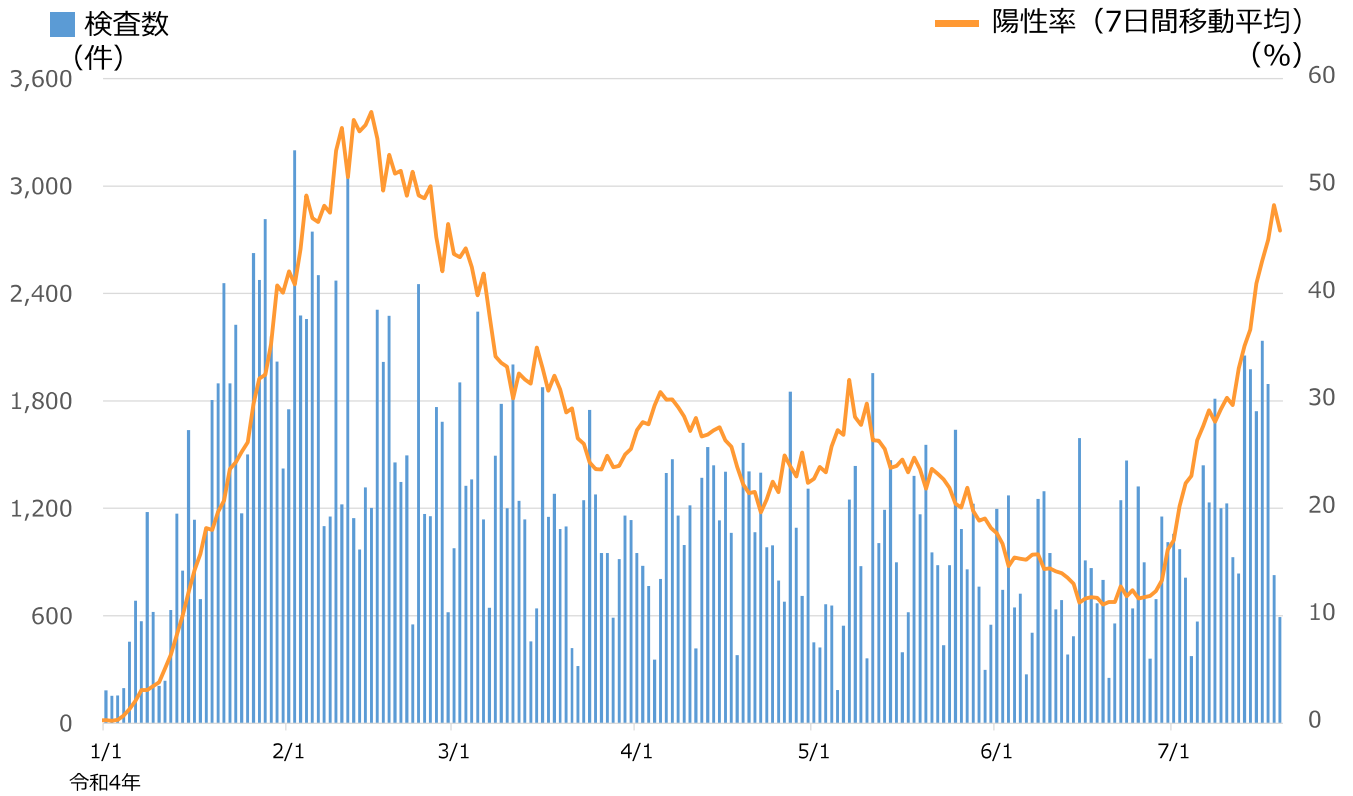
直近1週間の新規陽性者年齢構成割合



	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19
堺市	421	477	526	602	669	703	660
大阪府	488	548	604	681	746	773	717

※上記矢印は、当日と前日の指標（直近1週間人口10万人あたり新規陽性者数）を比較した場合の増減傾向を表しています。
 ※直近1週間新規陽性者年齢構成割合は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
 ※直近1週間人口10万人あたり新規陽性者は、小数点以下を四捨五入しています。ただし、0.5未満は1とし、0の場合のみ0と表記しています。

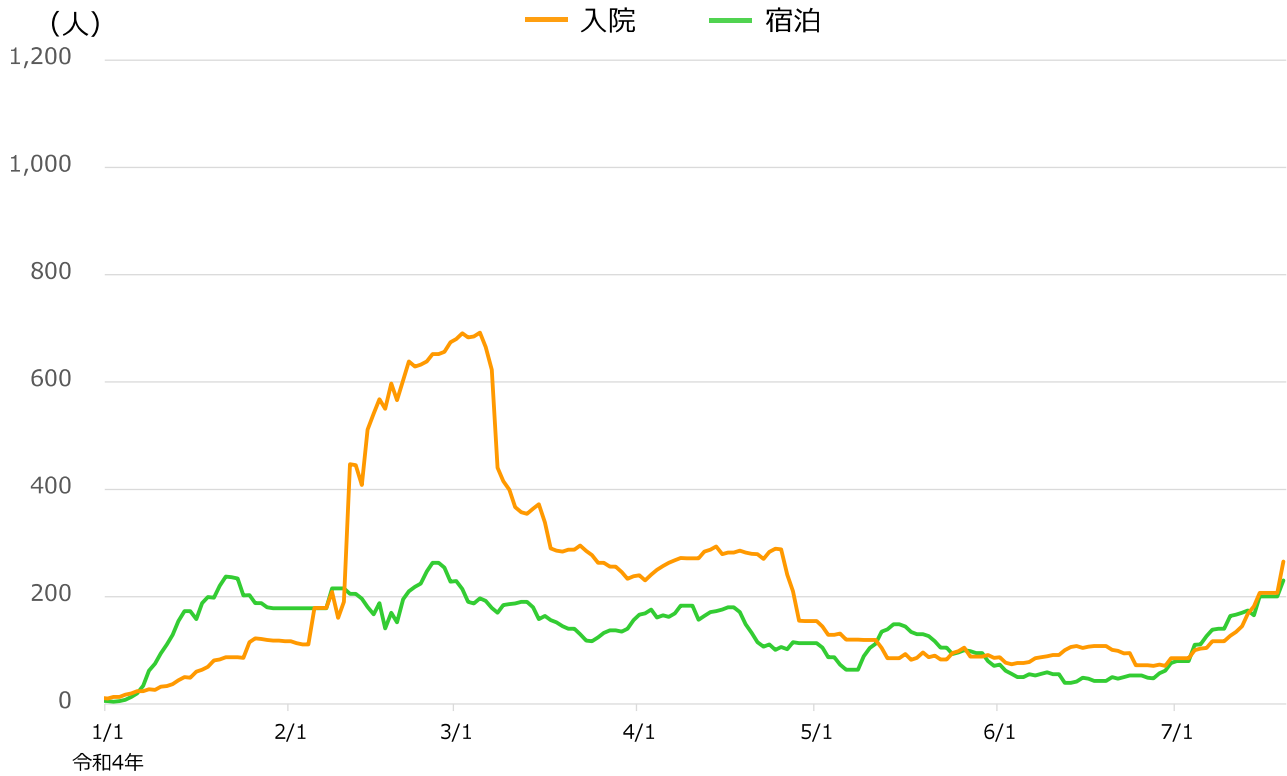
陽性率と検査数の推移



重症者数の推移



入院・宿泊療養者数の推移



自宅療養者数の推移



保健所の体制強化

陽性者数	想定1,000人	最大想定 2,500人以上案
全体人員 体制	所属 93人 応援 60人 保健師等専門職 40人 事務職 20人 人材派遣等143人	所属 93人 応援 120人 保健師等専門職 80人 事務職 40人 人材派遣等182人
合計	296人	395人（委託含む）

保健所業務の効率化

1	発生届受理	医療機関の協力を得て、システム受信 医療機関のHER-SYS入力率 40%（R4.4）→ 63%（R4.7）
2	疫学調査	SMSの活用、ハイリスク者の重点化 自宅療養の留意点などの情報提供
3	健康観察	リスクスコア活用等による対応の平準化及び 自動架電等本人の入力報告による省力化 対応時間2割程度縮減
4	療養証明書等 の発行	電子申請による証明書等の発行事務処理 郵送申請、郵送発行から利便性の向上

STEP1

施設の感染対策に関するアンケート実態調査

R4.5 WEBアンケート

- 高齢者施設 285施設回答/414施設 (回収率68.8%)
- 障害者施設 87施設回答/124施設 (回収率70.2%)

STEP2

「感染対策に不安がある」等と回答した施設に対応

対象施設 : 82施設
訪問指導 : 41施設 (予定を含む)
マニュアル研修 : 41施設

保健所等から専門家による感染対策の実地指導



訪問による実地指導

- ・施設内巡回
- ・個別質疑
- ・動線確保
- ・防護服等着脱指導



熱中症に気をつけて基本的な感染対策の徹底を

- **手洗い・三密回避、場面に応じて適切にマスクを使用してください。**
(会話時は着用を徹底、屋外での運動時は外す等)
- **夏場も換気が重要**です。エアコンの使用中でも定期的に窓を開けて、部屋の換気を行ってください。

効果的な換気のポイント

- 30分に1回を目安に換気
- 換気扇、扇風機、サーキュレータの活用
- 2か所以上の窓や扉を開放

ワクチン接種

堺市民のワクチン接種状況

【7月20日 午前9時現在】

回数	全体		65歳以上	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
1回目	652,106人	81.5%	224,756人	95.8%
2回目	648,631人	81.0%	223,779人	95.4%
3回目	472,745人	63.0%	209,672人	89.4%
4回目	47,114人	6.7%	45,931人	19.6%
			60歳以上	
			46,869人	17.0%

※ VRS登録データより抽出。

※ 全体の接種率は、1回目・2回目接種は5歳以上、3回目接種は12歳以上、4回目接種は18歳以上の人口を母数として算出しています。

新型コロナワクチン4回目接種 医療従事者や高齢者施設等従事者も対象（予定）

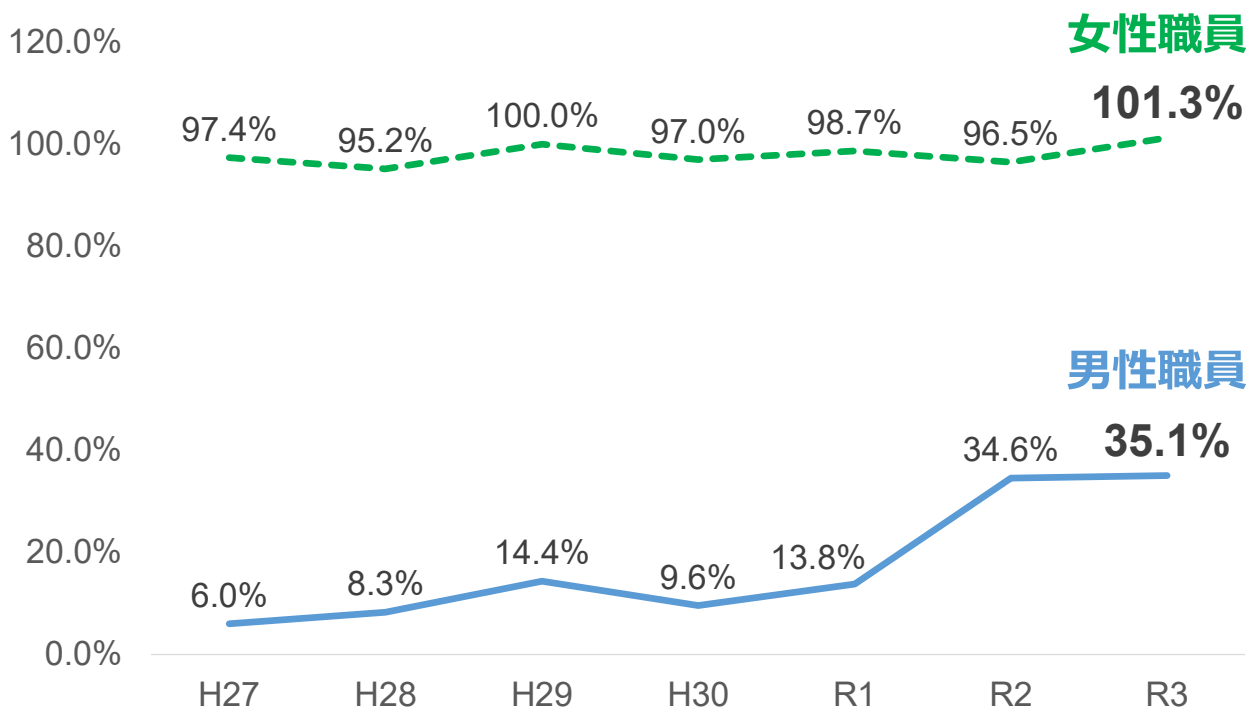
国から通知があり次第、速やかに対応
(7月22日の厚生科学審議会で審議後、早ければ同日から対象拡大)

	堺市対応（予定）
接種方法 (接種券不要)	上記従事者が市内医療機関・集団接種会場に 予防接種済証写しを持参（※） → 3回目接種日等を確認できれば接種可能

※予防接種済証を紛失等した方は、住民票所在の自治体に接種券発行を申請し会場へ持参してください。

7月20日市長定例記者会見

○男性職員の育児参画の推進



※対象者（分母）は当該年度内に子が生まれた職員数、取得者（分子）は当該年度内に育児休業を取得した職員数であるため、取得率が100%を超えることがあります。

堺市職員ワーク・ライフ・バランス計画

**職員がやりがいと成長を実感
挑戦する風土の中、職員がパフォーマンスを最大限発揮
〈堺市職員ワーク・ライフ・バランス計画（令和4年3月策定）〉**

目的達成に向けた施策

生産性向上をめざす
柔軟な働き方の
実現

多様な人材が活躍し
達成感が得られる
環境整備

育児・介護・病気等と
仕事の両立支援

男性職員の育児参画の更なる推進に取り組む

現状の主な課題

職場に迷惑をかけるという意識

育休取得に伴う収入の減少

業務多忙により育児休業を取得しにくい

男性職員がより育児に取り組める強化策 堺モデルを実施

(職員団体との協議妥結や条例改正が行われ次第開始)

堺モデルの取組内容 (案)

堺市版フレックスタイムの導入

テレワークの要件緩和 (※1)

育児休業の取得促進 (※2)

	目標取得率 (令和8年度)
男性育児休業	80%
堺モデル	概ね100% (※3)

※1 現在のテレワークの要件は、週2回以内かつ月10回以内。

※2 育児休業の分割取得は、地方公務員育休法等の改正に伴うもの（10月施行に向けて8月議会に条例改正案を提出予定）。

※3 取得率は、育休取得対象者の男性職員のうち、フレックスタイム、テレワーク、育児休業のいずれかを取得した者を対象として把握（目標値は堺市職員ワーク・ライフ・バランス計画で設定）。

組織のトップとして 市長が仕事と育児の両立を実践

公務に大きな支障が出ないよう、テレワークを積極的に活用

期 間	対 応
子の出生後 8週間	登庁 3日/週（半日程度） テレワーク 上記以外

※ 議会出席及び土日祝の行事出席等はこれまで通り。